



2002

新春



広報みしま
1月号 vol.406

発行/三島町役場 [代表: 遠藤鐵四郎]
編集/総務課 (庶務係)
〒940-2392
新潟県三島郡三島町大字上岩井1261-1
TEL 0258-42-2221
FAX 0258-42-2154
http://www.town.mishima.niigata.jp/
E-mail syomu@town.mishima.niigata.jp

印刷/あかつき印刷株式会社

ダイヤル案内

ガ ス 企 業 団 ☎42-2671
水 道 企 業 団 ☎72-2259
みしま中央会館 ☎42-2222
与板郷消防署(斉場) ☎72-2572
みしま交流センター ☎42-2223
三 島 町 体 育 館 ☎42-2756



■初代吉原校長の肖像写真



■吉原與吉の碑
(高さ204cm 幅104cm
厚さ17cmの切石)

石が語る

日吉小学校前庭にある
吉原與吉の碑

日吉小学校の前庭に「大正八年夏月」とある日吉小学校初代校長 吉原與吉の頌徳碑が建っている。この人は大正七年三月末まで、七日市校から数えて満三十九年在職した。この年の七月に表彰式があり、更に翌八年に碑が出来たものである。

教師一筋で生き、昭和十二年七月八十四歳で他界した。父の吉之丞が奉納した「算額」(嘉永二年(一八四九)七月、七日市諏訪神社に奉納。現在三島町郷土資料館に展示)があるが、その父と父の師である上岩井の安立数衛から、読書算術天元天竅(幾何代数)等を学んだと云う。小学校の歩みであるが――慶応元年(一八六五)九月に上山領(山形県)であった七日市に明新館支館が設けられ近郷の者たちが学んだ。そして新政府誕生後の明治五年に学制が制定され「公立七日市学校」が生まれた。七日市校組、河根川分校組、下除分校組より成っていたが、時代の推移と共に、分離したり独立していった。明治二十二年四月に日吉村が開村し、そして明治二十八年十一月一日に日吉村一ヶ村による「村立日吉尋常小学校」が開校した。場所は現在の日吉郵便局付近であった。吉原與吉は明治十一年に新潟師範に入学し、卒業後訓導として教えていたが、初代校長として迎えられた。



■大正13年11月増築上棟式での吉原與吉(写真前列中央)

数一六五人(男子一四八人、女子七二人)平均出席一四一人、卒業生尋常二十四人(男子二十三人、女子一人)年間授業日数二六〇日、就学状況が時代を反映している。又明治五年から明治二十年までは授業料一人一銭ないし五銭を徴収したと云う。日吉校は大正十三年に校舎の老朽化や手狭さから増築し、更に昭和七年に現在地に移転増築した。それにしても七日市校で共に教鞭をとった河内卓爾は脇野町小学校の初代校長に、片や吉原與吉は日吉小学校長で、それぞれの学校で学校教育の揺籃期に活躍したのも、奇しき因縁であった。(文 中村勝栄)

みしまの植物 ②

ヤブコウジ

(ヤブコウジ科)
方言 じゅうりょう

町内山地の各所に広く分布しており、古くからよく知られた馴染み深い植物。地下茎で繁殖するので群落をつくることがある。夏に白色の小さな花をつけるが、赤い果実の時期ほど目立たない。万葉人も好んだらしく、万葉集に「やまたちばな」名で五首詠まれている。紫の糸をよってこの実を通す歌もあるが、装飾にしたものか、素材さが色まで想像させる。



撮影日 一九九一年十二月十二日
場所 鳥越字津ノ沢
(写真・文 奈良場正一)

「12月号「石が語る」の補足と訂正
「道しるべ」は、元々は裏橋のたもととの道端に建てていたので、右におやく所みちと刻まれていた。左におやく所みち

広報 三島

1

2002 JANUARY
vol. 406

新春ごあいさつ

三島町長 遠藤鐵四郎

ご家族が仲むつまじく輝かしい新春を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。昨年は21世紀幕開けの年として、現下の厳しい社会経済情勢が少しでも良くなるようにとの期待をもってスタートした年でありましたが、世界

中を震撼させたアメリカ同時多発テロや炭疽菌事件、狂牛病問題など、これまでの常識では判断できない、そして私たちの日常生活の根底を揺るがすような凶悪で不安を与える出来事が多発した一年でありました。さらに不況による

き時期に來たのではないかと思っております。暗いニュースの中にあつて、イチロー選手のチャレンジが実を結んだメジャーリーグでのMVPや、高橋尚子選手のマラソンを楽しみながら生まれた世界最高タイムなどの話題が報じられました。また皇室では、内親王殿下敬宮愛子様のご誕生もありました。希望をもては明るい21世紀が必ず訪れます。未来を担う子どもたちが健やかに成長できる社会づくりを私たちは誓い合おうではありませんか。

町でも、町の将来像「人の和で未来につなぐまちづくり」が人育て、人がまちを創る」を目標とした第四次三島町総合計画が昨年スタート

いたしました。町の資源を有効に利用し、皆様が安心して暮らせ、健康に立脚した、生きがい追求できる魅力あるまちづくりを皆様のご理解のもとにすすめてまいりたいと考えております。

倒産や失業者の増加など、これらの我が国の行く末を考えると、大変憂慮すべ

いたしました。町の資源を有効に利用し、皆様が安心して暮らせ、健康に立脚した、生きがい追求できる魅力あるまちづくりを皆様のご理解のもとにすすめてまいりたいと考えております。

乳幼児の医療・保育や学校5日制に対する諸問題などの児童福祉問題及び介護保険の運営については、地域協力体制つまりは町民の方々の共同・連帯が不可欠であり、その気運の高まりが重要であると考



企業倒産や失業者の増加など、これらの我が国の行く末を考えると、大変憂慮すべ

いたしました。町の資源を有効に利用し、皆様が安心して暮らせ、健康に立脚した、生きがい追求できる魅力あるまちづくりを皆様のご理解のもとにすすめてまいりたいと考えております。

乳幼児の医療・保育や学校5日制に対する諸問題などの児童福祉問題及び介護保険の運営については、地域協力体制つまりは町民の方々の共同・連帯が不可欠であり、その気運の高まりが重要であると考

今年午年

人と馬との長いつきあい

「馬には乗ってみろ、人には添うてみろ」「馬の背をわける」「生馬の目を抜く」……馬に関する慣用句や諺は数知れません。馬がいかに人と深くかかわってきたかがうかがわれます。

ういうルートで日本列島に渡ってきたのかは、まだはっきり分かっていません。しかし、縄文・弥生時代には、役割ははっきりしないながら、馬がすでに家畜のように利用されていたようです。古墳時代の遺跡からは馬の埴輪も出土しています。

馬が最初に家畜化されたのは、今から五千年ほど前の中央アジアのこと。以来、人や荷を運んだり、物をひっぱったり、農耕を助けたり、戦場で働いたり、さまざまな場面で大きな役割を果たしてきました。その国や地域に大昔からいる馬を「在来馬」と呼びますが、日本では現在、北海道、長野、宮崎、沖縄などに計八種類がいます。これらの馬の祖先が、いつごろ、ど

馬は、古典にもしばしば登場します。最古の歌集といわれる「万葉集」には、馬を詠んだ歌が八十首近くあり、馬が貴重であったことが読み取れます。たとえば、柿本人麻呂の歌。

山科の木幡の山を 馬はあれど 歩ゆ吾が来し 汝を念ひかね

「私には馬があるが、あなたを思う心に耐えかねて、山

「走る芸術」馬の耳に念仏

科の木幡の山道を歩いてきたのです」という恋歌です。人麻呂のように宮廷仕える階級の人が馬を所有できたことが分かります。

馬と聞くと真っ先に競馬を連想される方も多しと思えます。馬同士を走り競わせる行事は、走馬、競馬などといっています。奈良時代から行われていた。特に端午の節句（五月五日）の競馬は恒例で、と

現代では、競馬といえばサラブレッド。より速く走るようになり、品種改良を重ねてつくりあげられた馬です。広い胸幅、よく発達した後軀、四百キロを超す体を支える細い

脚。たてがみをなびかせて走る姿は、「走る芸術品」といわれるだけあって、ほればれとする美しさです。

一方「馬の耳に念仏」「馬耳東風」と、無反応、役立たずの代表のようにいわれる馬の耳。私たちが何気なく使ってしまう諺ですが、これは誤解と考えてよさそうです。

馬の耳は、前方にある物の距離を測るなど、優れた機能をもっています。「馬の耳に念仏」は、悠然とした馬の姿から連想されたものでしょうが、馬にとっては迷惑な話ですね。

馬は、人間の願いごとにも関係があります。そう、絵馬です。その昔、神に祈願してかなえられたとき、神馬とす

るように馬を献納しました。しかし、貧しい民は馬を納めることができないので、代わりに馬の絵を描いたり、馬の形に作った木片を献じたりしました。それが絵馬の始まりだといわれています。

午年の今年もまた、神社にはたくさん絵馬が献納されることでしょう。一年を健康に、無事に過ごせますように、そして世界に平和が訪れますようにと、心から願わずにいられません。



まちのNEWS

このコーナーでは、町政の動きや町の行事・話題を紹介します。あなたの身近なところに話題がありましたら、役場広報担当へ連絡ください。



**ご芳志
ありがとうございます**
■匿名希望で
20,000円
町社会福祉協議会にご寄付いただきました。

りんごクラブに サンタクロース 12/12

12月12日、遊びのサークル「りんごクラブ」にお邪魔しました。月2回、保健センターで活動をしているという同サークルでは、この時期恒例のクリスマス会を開きました。親子での遊びのゲームを楽しんだ後、真っ赤な衣装に身を包んだサンタクロースが登場すると、その姿に泣き出す友だちもいましたが、クリスマスプレゼントが手渡される頃にはすっかりサンタさんと仲良しになりました。



献血にご協力 ありがとうございました 12/12



12月12日、町内2か所において、移動バスによる献血が行なわれました。事業所などから72人の方々には善意のご協力をいただきました。献血は健康な人なら誰もがができる人助けです。寒さが一層厳しくなるこの季節、献血をして心からホットになってみてはどうでしょうか。

士気旺盛に 消防団出初式 1/6

新年恒例の町消防団出初式が、1月6日、町体育館を会場に実施されました。式典では、遠藤町長が「町民の尊い生命と貴重な財産を火災などから守るため、一層の努力をお願いします」と挨拶。そして士気旺盛な団員を閲団の後、体育館前駐車場において一斉放水が行なわれました。冬の空に水のアーチが描かれ、ことし一年の無火災、無災害を祈願しました。



新年賀詞交換会 開かれる 1/3



1月3日、みしま中央会館ホールにおいて、大字や各種団体、町内事業所などから総勢約150人が出席して、平成14年賀詞交換会が開催されました。年頭にあたり遠藤町長からは、これまでに着手した事業や、平成14年度に予定される主な事業について概要が話されました。続いて、野島町議会議長、結城栄一首都圏みしま会前会長から挨拶の後、山田英一さん(鳥越)の乾杯により懇親会が始まりました。出席者はお互いに面識を深めながら、終始なごやかな雰囲気の中、新年の門出を祝いました。

一月俳句

(紅葉吟社)

◎短日の醤油の如き秘湯かな

桜井 羊子

風邪に臥しわが人生を省りみぬ

中村 遊雲

戸を揺らす独り暮らしの冬の雷

難波 千代女

捨猫のすがる目と合う年の暮

棚橋 比呂志

冬帽子色さままなバスの中

丸山 むつ

着ぶくれて首を戴せたる如きかな

丸山 義広

風邪の子の部屋に重ねし積木かな

小林 終子

初孫に手編み手袋送られ来

結城 老松

蓮花寺の蕎麦打ち会に加われり

遠藤 カズ

意識なき人を見舞へり冬薔薇

原 遊子

婦人もの手袋山と積まれあり

安達 南風

広報に湖上の蛙の写真載り

大滝 著風

一年間お世話になります 大字区長さんを 紹介します (敬称略)

鳥越	小池	安達	作榮
七日市	小林	藤夫	
上岩井	古見	義男	
吉崎	河内	武一	
脇野町	白倉	六二	
中条	奥田	康和	
新保	名塚	康和	
大野	渡邊	光夫	
下河根川	近藤	光夫	
瓜生	近藤	光夫	
蓮花寺	小川	忠徳	
中永	難波	忠徳	
上条	小田	康雄	
逆谷	小田	康雄	
気比宮	南雲	二治	
藤川	中原	正文	
宮沢	中野	正紀	



地域に伝わる民話には、その地域の伝統や風習、人々の思いなどが込められています。12月12日(水)、交流センターで開かれた「昔語りを聞く会」には、ふるさと講座・女性セミナー・老人クラブの会員の中から140名以上が集まり、かたりべの巧みな話術に耳を傾けました。

今回は、かたりべをお願いしたのは、栃尾市の公民館事業の一環として行われている「かたりべ教室」の皆さんです。

当日は、5名の方からおいでいただき、8つの民話を語っていただきました。愉快な話に会場はわき、しみりとした話の時にはシーンとなって、ほのぼのとした民話の世界に引き込まれていました。

昔話のなつかしさと方言のあたたかさを実感したひとときでした。



あつたつてんがない…

—昔語りを聞く会—



学校で大人向けの パソコン教室開催!

11月下旬から12月上旬にかけて、町内の小中学校3か校にて「年賀状づくりのパソコン教室」が開かれました。

この事業は、学校のパソコンルームを町民に開放し、しかも小中学校の先生方が講師を務めるということで、学校のもつ教育機能を町民のために役立てるという意味でも意義のある事業と言えます。

参加した方々は、2時間×3回の講習を通じて、自分の思い描く年賀状になるように、賀詞の形や色を変えたり、今年の干支である馬のイラストを貼り付けたり、お気に入りの写真を取り込んだりして、素敵な年賀状に仕上げました。



情報玉手箱

～休日の子ども向け事業～

★地域ふれあい交流事業

「遊びの祭典～記録にチャレンジ～」

- ◇日時 1月27日(日) 9:00～11:45
- ◇会場 中央会館・ホール
- ◇内容 昔の遊び、今人気の遊びなど、いろいろな遊びのコーナーがあります。
- ◇その他 詳しいことは、1月上旬に配布したチラシをご覧ください。

「親子スキーのつどい」

- ◇期 日 2月9日(土)・10日(日)
- ◇会 場 マウンテンパーク津南スキー場

★地域ふれあい交流事業

「土器(植木鉢)づくり& 県立歴史博物館の見学」

- ◇期 日 1回目…3月9日(土)
2回目…3月23日(土)
- ◇会 場 ・三島町体育館
・県立歴史博物館
- ◇内 容 ・土器または植木鉢づくり
・県立歴史博物館の見学とわくわく歴史体験
- ◇その他 詳しいことは、2月中旬に配布するチラシをご覧ください。



※くわしい情報を知りたい方は、教育委員会・社会教育係(☎42-2221内線333または350)までご連絡ください。

三島町に伝わる

昔話の情報を

お寄せください

三島町にも昔から語り継がれている民話や伝説などの昔話があることと思います。「全部は覚えていないけど、一部なら覚えている」という方、「内容は忘れたけど、題名だけは覚えている」という方……、どんなことでも結構ですので、昔話に関する情報を寄せていただき、三島町に伝わる昔話を集めてみたいと思います。ご協力をお願いします。

三島町教育委員会

担当 社会教育係

五十嵐

小林(久)

TEL 42-2222

FAX 42-1353



凧づくり



折り紙人形づくり

「わくわくルーム」(町体育館)と「児童クラブ」(鳥越集落センター)は、子ども地域活動促進事業として平日の放課後及び土曜日(第2・4土曜日は除く)に開設しています。

県内の各市町村でも放課後の小学生を受け入れる体制を整えています。三島町のように小学生全学年を受け入れている所は、当町を含めて2市町村しかありません。

わくわくルーム・児童クラブとも専任の指導員が1名ずつおり、開設時間内であれば、いつ来て、いつ帰るのも自由です。また、事前に登録する必要はなく、入室する時に学年や名前等を名簿に記入するだけです。

普段は、子どもたちが自分の好きなこと(本を読む、運動する、ゲームをする、ビデオを見る等々)をして過ごしていますが、時々、現代っ子に必要と言われる体験活動の機会を意図的に設けて、事業の充実に努めています。

わくわくルーム
児童クラブ

でも楽しい体験活動を...



道具を使った遊び



スライムづくり

お詫びと訂正

「広報みしま12月号」に誤りがありました。お詫びし、次のとおり訂正させていただきます。

三島町押し花サークル
(誤) 藤本美智子さん
(正) 藤木美智子さん

第18回三島町西山連峰登山マラソン大会
平成14年5月19日(日)実施

★参加申し込みは、所定の郵便振替用紙を使って、4月1日(月)消印有効で下記参加料を添え、最寄りの郵便局から振り込んでください。

- ・一般 2.000円 ・小中学生 1.000円
- ・夫婦親子ペア 1組2.000円

★申込書(郵便振替用紙)は、町役場2階・教育委員会及び町体育館にあります。



②



①

12月8日(土)、脇野町小学校の食堂を会場に「親子でチャレンジ! パート4」を行いました。

子どもたちにとってクリスマスは、夢や楽しみを与えてくれる年中行事なので、この日の参加者は、子どもと大人を合わせて130名を超えました。

前半のリースづくりでは、直径25cmのリースに木製の人形、ヒイラギの実や葉など、色とりどりのオーナメントを飾り、華やかなリースを完成させました。(写真①)

後半のケーキづくりでは、講師の山本忠昭先生(長岡市在住)からホイップクリームのつくり方やケーキをデコレーションする方法などを実演しながら教えていただきました。(写真②)

その後、参加者は、家から持ち寄った果物やチョコレートなどでスポンジケーキに彩りを添え、見るからにおいしそうなデコレーションケーキが63個できあがりしました。(写真③④⑤)

— クリスマスリース&ケーキづくり —

クリスマスのふん囲気を味わったよ!



④



③



⑤

始めよう！

ゴミを出さない暮らし方



ごみ減量再資源化推進事業現地視察

～生活者による地域循環型社会へのチャレンジ～

昨年11月20日、ごみ減量化推進員のメンバーにより長岡市の民間団体「地域循環ネットワーク」と、三島谷興産を視察しました。

地域循環ネットワークでは…

モノを破棄することと決別して、

モノを循環させることについて知恵を出し合い活動をしています。

- ・家庭ごみのリサイクル活動…土（肥料として）に還す。動物の餌にする。
 - ・事業所系生ゴミのリサイクル活動…学校・保育所給食、社員食堂、ホテル・レストランの調理の残りを飼料活用。
 - ・雑古紙100%のトイレトーパー、ティッシュペーパーの普及活動。
 - ・わりばしメイト事業…パルプ原料活用、炭原料活用
- 新しい社会システムづくりの提案と実践することにはがんばっていました。

三島谷興産では…

すさまじいごみの量と、処理能力に

驚かされ、地球環境のことを考えると、将来も健康な暮らしを続けていけるのか心配になりました。まず私たちにできること、身近な「ごみ減量」から始めようではありませんか。



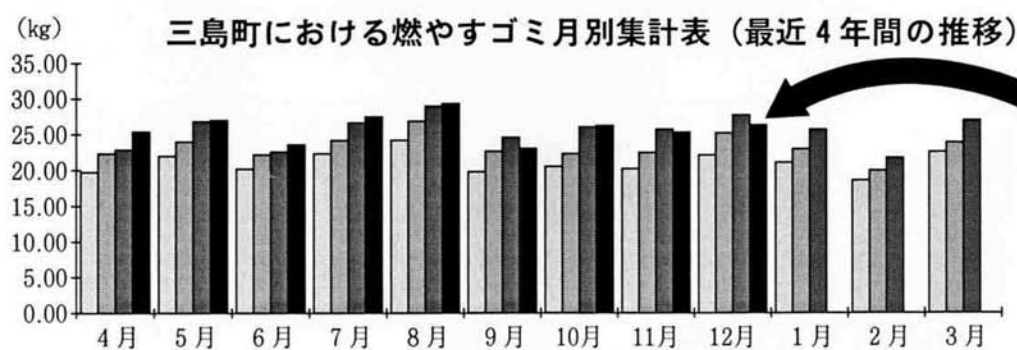
①：蓮花寺地内
②③：鳥越地内



次の世代に住み良い環境を引き継ぐために、町民皆様一人ひとりの協力が重要です。快適な生活をしていくうえで必ず出るごみ。大量生産と使い捨てのライフスタイルが、私たちのモノに対する意識をすっかり変えてしまい、それとともにごみの量も急激に増えてきました。そのためにも、ごみのリサイクルは

欠くことのできない課題です。家庭や事業所から排出されるごみも、正しい分別と出し方により、リサイクルされるものも増え、ごみの減量につながります。またごみの中には、ガラスの破片や釘、スプレー缶などが入り、ごみ処理業者は思わぬケガや火災、事故にみまわれま

安全・円滑に処理できるように、再度分け方や出し方を確認し、ごみステーションにお出しいただくようご協力お願いいたします。また、ごみステーションは各町内会で管理しています。勝手によその町内からの持ち込みはできません。皆さん一人ひとりの協力できれいな環境をつくりましょう。



平成13年12月の数値
197tを12月末人口に換算すると、1人あたり26.29kgとなります。

人口1人あたりkg
H10
H11
H12
H13

「これから私たちにできること」

- ★ごみは必ず分別して出す
- ★使い捨て商品をなるべく買わない
- ★使えるものは修理して長持ちさせる
- ★できるだけ再生品を暮らしに生かす
- ★ポイ捨て、不法投棄は絶対にしない

「またもの土に返す」取り組みの一端として、台所から出る生ごみの堆肥化による土づくりと、野菜や草花を栽培する場として、鳥越地内に町民農園を開園しました。生ごみの減量と、安心して食べられる我が家の食、草花の栽培をおもいきり町民農園で研究してみませんか。まだ空き地がありますので、貸し出いたします。（町民課まで）



ごみ減量化活動報告

「EMぼかしの作り方と有機野菜栽培の講習会」

秋野菜の収穫も終わり、一段落している頃、ごみ減量化推進員の小林キヨさんの主催で、昨年12月10日、三古農業改良普及センターから講師を呼んで講習会が開かれました。

野菜作りの基礎知識から土づくり、農薬の上手な使い方まで、参加者は皆真剣に聞き入っていました。EMぼかしの効力や、生ごみからの堆肥づくり、健康食へのこだわりを感じた講習会でした。

また、町では「土から生

CALENDER



1月 JANUARY

19 土

20 日 書初め展示 (1月13日~20日) 町体育館

21 月
● お誕生歯科健診 (H12.10~H12.12出生児) 13:15~13:25受付
● 2歳児歯科健診 (H11.10~H11.12出生児) 13:35~13:45受付

22 火
地域参加型リハビリ (瓜生くつろぎ会) 9:00 瓜生集落センター
いきいき広場 9:00 デイサービスセンター
ひよこクラブ 9:30 中央会館
にこにこクラブ 9:30 中央会館
心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館

23 水
地域参加型リハビリ (逆谷ほたるの会) 9:00 逆谷集落センター
生き生き健康講座 9:30 保健センター

24 木
全国学校給食週間 (~30日)
高齢者リハビリ 9:00 保健センター

25 金
● 乳児相談 (H13.3~H13.4出生児 / H13.10出生児) 9:00~9:20受付

26 土 文化財防火デー



27 日 遊びの祭典 9:00 中央会館

28 月

29 火
町県民税 (第4期) } 口座振替日
国民健康保険税 }
国民年金保険料 }
下水道使用料 }
心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館

30 水

31 木

2月 FEBRUARY

1 金 生活習慣病予防週間 (~7日)

2 土

3 日

4 月
● 3歳児健診 (H10.10~H11.1出生児) 13:15~13:30受付

5 火

いきいき広場 9:00 デイサービスセンター
ひよこクラブ 9:30 中央会館
オープン講座「楽しく踊ろう」 13:30 交流センター
心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館

6 水

ヘルスサポーター講習会 9:00 脇野町小学校

7 木

北方領土の日
みしま園リハビリ 13:00 みしま園
母子手帳交付日 13:30~13:45受付 保健センター

8 金

9 土 町民親子スキーのつどい (~10日) 津南町

10 日

11 月 建国記念の日

● 三種混合1期◎ (H12.10~13.3出生児) 13:45~14:30受付

12 火
地域参加型リハビリ (鳥越いきいき教室) 9:00 鳥越南集会所
心配ごと相談 13:30~15:30 中央会館

13 水

オープン講座「楽しく踊ろう」 13:30 交流センター
地域参加型リハビリ (逆谷ほたるの会) 9:00 逆谷集落センター

14 木

高齢者リハビリ 9:00 保健センター

15 金

地域参加型リハビリ (上岩井ふれあい会) 9:00 上岩井ふれあいセンター

● は乳幼児保健行事です。会場はいずれも保健センターです。
※ 乳児相談の時、乳児健診無料券・神経芽細胞腫検査セットをお渡ししますので、必ずおいでください。

1月1日現在



4月から 国民年金の納付などが変わります
町民課 242
◎保険料の納付について
国と市町村との事務が見直され、三島町でも国民年金保険料の収納事務がなくなり、いままでも三島町に納めていた保険料は、平成14年4月から、国に直接保険料を納めることとなります。自主納付の方への「国民年金保険料納付案内書」は、長岡社会保険事務所から直接加入者に送られます。現在口座振替の方は、そ

のまま社会保険事務所に引き継がれます。
◎口座振替について
口座振替は、現在取り扱われている北越銀行三島支店、郵便局、農業協同組合のほか、全国の各銀行、信用組合、信用金庫、労働金庫でも納めることができます。納め忘れないようこの機会に口座振替をご利用ください。
◎会社員、公務員などの夫(又は妻)に扶養されている人の届出について
サラリーマンの夫(又は妻)に扶養されている妻(又は夫)が、自分で

保険料を納めないで、年金の資格を得るための三号の届出は、いままでも本人が役場に届出することになっていましたが、平成14年4月からは、届出漏れ防止などのため、配偶者(夫又は妻)の勤務先を経由して届出することになります。
その他、ご照会は国民年金担当まで
介護保険における短期入所サービスの利用について
保健福祉課 237
今までの短期入所の利用については、6か月ご

要介護度	短期入所サービス利用日数	
	平成13年12月31日まで(6か月)	平成14年1月1日から(1か月)
要支援	7日	6日
要介護1	14日	16日
要介護2	14日	18日
要介護3	21日	24日
要介護4	21日	27日
要介護5	42日	30日

とに利用できる日数の上限が決まられていましたが、平成14年1月から、支給限度額の範囲内で毎月利用できるようになりました。

※連続して利用できるのは30日までとなります。
※利用日数は、認定結果の有効期間の概ね半数月をこえないこととされています。
※1か月の中で、訪問・通所サービスと、短期入所サービスの両方を利用した場合、利用できる日数は表の日数より少なくなります。
家では、週3回のごみ出しは私の仕事。よくもこれだけのごみが毎回出るものとウンザリしますが、結構好きでやっている所もありました。本紙11頁グラフからも、三島町のごみの量は年々増え続けています。ごみを出すことは当り前ではなく、ごみを減らす努力をしなければ、事態の打開はないのではないのでしょうか。基本はやはり「正しい分別と出し方」にあると思います。ぜひ「ごみ減量」への第一歩を、新しい年を迎え、広報担当も小泉首相ではありませんが、時には「恐れず、ひるまず、とらわれず」の精神で物事にあたろうかと考えています。今年も広報活動に対するご理解、ご協力をお願いします。(矢川)

